

いしかわスポーツマイレージ事業業務委託候補者選定に係る公募型プロポーザル 質問及び回答

通し 番号	項目	質問内容	回答
1	実施要領－４－（５）	平成31年度以降の管理運営費について、年間の想定額はあるのでしょうか。	平成31年度以降の管理運営費については、当該年度予算が成立していないため金額についてお示しすることはできませんが、サーバー利用料、保守・サポート費の基本的な保守管理費に加え、二次元コードの発行やGPSの設定、情報発信代行、応募受付・抽選・当選者との連絡調整の費用などが必要となると考えております。なお、次年度以降の管理運営費については、評価の対象となります。
2	実施要領－４－（５）	次年度の予算はどの程度を見込んでいますか。	
3	仕様書－３	県民への事業周知は委託内容には含みませんか。	県民への事業周知は委託内容に含みません。
4	仕様書－３－（１）	県民だけがアプリを利用できるのでしょうか。制限をかける場合、どのような確認フローを想定されていますでしょうか。	県民だけでなく県外の方もマイレージ事業の対象といたします。
5	仕様書－３－（１）	当該マイレージ事業は在住、在勤、在学ともに含まれるのでしょうか。	
6	仕様書－３－（１）	全体的な日程は下記の認識でよろしいでしょうか。 ・アプリ開発期間 （契約締結～遅くともH31年1月15日まで） ・試験的稼働期間 （アプリ開発終了～遅くともH31年3月14日まで） ・本稼働 （遅くともH31年3月15日までは開始） ・利用者がポイント貯める実施期間（第1回目） （2019年3月～2020年3月） ・抽選予定（第1回目） （2020年4月）	ご質問のとおりです。
7	仕様書－３－（１）	二次元コードは各試合や各イベントまた各健康教室毎に、毎回新たなコードを発行するイメージでしょうか。	各試合やイベント、健康教室毎に発行する方法と、各試合やイベント、健康教室の主催者に対して、一つずつ二次元コードを発行し、各主催者においてそれぞれの二次元コードを年間を通じて使用いただく方法、を使い分ける想定をしています。なお、後者の場合は、各ユーザーが同一二次元コードを読み取ることができる回数を1日1回までのように制限することで、何度も繰り返しポイントを取得できないようにすることを想定しております。
8	仕様書－３－（１）	二次元コードの発行回数は年間何件くらいを想定していますか。	年間の発行回数は、100件程度を見込んでおります。

通し 番号	項目	質問内容	回答
9	仕様書-3-(1)	二次元コード機能は、会場にバーコードなどを設置する運用を想定されていますか。その場合、スポーツイベント、ボランティア、健康教室などそれぞれ何か所程設置する想定なのでしょうか？その設置費用は受託者負担、委託者負担どちらでしょうか。また、二次元コード機能を代替できるようなツールがある場合、提案差し上げる事は差し支えないでしょうか。	ご質問のとおり、二次元コード機能は、会場内に二次元コードが記載されたチラシ等を設置する運用を想定しております。その設置については、二次元コードを主催者に交付し、主催者が設置することを想定しているため、受託者負担はございません。なお、二次元コード機能を代替できるようなツールがある場合、ご提案いただくことは構いません。
10	仕様書-3-(1)	アプリをインストール後、どのように始められるものを想定していますか？（登録方法）	アプリをインストール後、ユーザー名、性別、年代（20代等）、居住地（県内19市町、県外）の選択・入力を以て、利用者登録を行い、利用を開始するものとするを想定しております。
11	仕様書-3-(1)	ポイント付与について、公式戦観戦はGPS機能、それ以外の観戦はカメラ機能とされている意図を教えてください。県外開催試合も対象となっているからでしょうか？	仕様書3-(1)表中に記載の公式戦観戦をGPS機能によりポイント付与することとしている理由としては、当該6チームが会場内に二次元バーコードを設置する負担なくポイント付与の対象とすること、会場の混雑が予想される各チームの公式戦において観戦者が容易にポイントを獲得できるようにすることの2点になります。
12	仕様書-3-(1)	歩数計機能について、ウォーキングかランニングかの判別もする必要あるのでしょうか。	歩数計機能について、ウォーキングとランニングの区別をつける必要はございません。
13	仕様書-3-(1)	アプリの管理画面については、市町村様からアクセスはなく、貴県からのアクセスのみと いう認識でよろしいでしょうか。	運用開始時は県からのアクセスのみとする予定ですが、将来的に県以外からのアクセスを伴う運用とすることも想定されることから、県以外からのアクセスも可能とするように開発してください。
14	仕様書-3-(1)	試験的稼働とは、アプリのダウンロードができるという意味でしょうか。人数の上限などはありますか。	事前に選定したテスターにアプリをダウンロードしてもらい、実際にアプリを利用してもらい、不具合がないか等フィードバックを得ることを想定しております。テスターの人数の上限は、現段階では設けておりません。
15	仕様書-3-(1)	初回の抽せんは2020年4月に実施されるということでしょうか。（2018年度2019年度においては抽選は実施されない）	ご質問のとおりです。
16	仕様書-3-(1)	特典に関し見積りに含めるものは下記の認識で良いでしょうか。 ・応募の受け付や抽選業務、当選者との連絡調整業務（本委託業務には含まない。2019年度以降には含む） ・特典の購入費と購入業務（本委託業務には含まない。2019年度以降にも含まない） ・特典の送料費と発送業務（本委託業務には含まない。2019年度以降にも含まない）	ご質問のとおりです。

通し 番号	項目	質問内容	回答
17	仕様書-3-(1)	景品は別途県にて調達されるということでしょうか。	ご質問のとおり、景品は県において調達いたします。
18	仕様書-3-(1)	景品の発送は本業務に含まれていますでしょうか。	景品の発送業務は、本業務委託の範囲に含まれません。
19	仕様書-3-(2)	開発費の見積りのために具体的な「協賛企業が設定する条件」の種類をご教示頂けないでしょうか。 もしご契約後に、実現不可能な条件や、長期の開発期間を必要とする条件と判明した場合、実現性が懸念されます。 又は2種程度の条件を前提に開発費を見込んでおく方法でよろしいでしょうか。この場合はご契約前又は後にご希望の条件をお伺いし、仕様など相談させて頂く方法でよろしいでしょうか。	現段階で、協賛企業が設定する条件をお示しすることができないため、ご提案いただいたように、数種の条件を前提に開発費を見込んでいただき、契約前後に条件をお伝えして仕様の相談を実施する方法でお願いいたします。 (条件のイメージ) ・5日間連続で1日5000歩歩く ・1か月で5回以上、プロチームの試合を観戦 ・協賛企業が指定するスポーツイベントへの参加 等
20	仕様書-3-(2)	キャンペーンは年間に何回程度実施を見込まれているでしょうか。	四半期に1度、年間4回程度の実施を想定しております。
21	仕様書-3-(2)	キャンペーンの都度、受託業者が下記を実施する認識でよろしいでしょうか。 ・応募の受け付や抽選（抽選の場合）、当選者との連絡	達成者に対し、抽選でインセンティブを付与するキャンペーンの場合、応募の受付や抽選、当選者との連絡は受託業者にて実施いたします。
22	仕様書-3-(2)	キャンペーンの際、インセンティブの送料もお見積りに見込む必要がありますか。 また発送業務も同様に費用を見込む必要がございますか。 もし受託者が発送業務を行う場合や、送料を負担する場合は、年間のキャンペーン数、商品、数量をご教示頂けないでしょうか。お見積りに含めます。	インセンティブの発送業務は県で実施するため、送料及び発送業務に係る費用を見込む必要はございません。
23	仕様書-3-(2)	インセンティブの費用は事業費の中に入っていますか。	
24	仕様書-3-(2)	インセンティブの発送などは事業者が行うのでしょうか。その場合、発送費などは事業費に含むのでしょうか。	
25	仕様書-4	参加者募集のプロモーション費用は、来年度予算でしょうか。	来年度の管理運営費の中にプロモーション費用を見込んでいただく必要はございません。 ただし、効果的・効率的なプロモーション方法があれば、業務委託の範囲に含めることもあり得ますので、ご提案いただいても差し支えございません。
26	仕様書-5	成果物に関する著作権等は県の保有とする事とあります。 今回、既製品の利用は不可でしょうか。 既製品の場合は、著作権等を既に他の企業などが保有していると想定され、石川県様へ全部は譲渡出来ないと予想されます。この場合は、仕様書にございます譲渡出来ない場合として事前に申し入れを行い、了解を得る方法でよろしいでしょうか。 またこの事前申し入れはいつ、どのように行えばよろしいでしょうか。	既製品の利用も可能です。ただし、既製品を利用することにより、本県へ著作権等の全部を譲渡できない場合は、委託候補者として選定後、仕様の詳細決定に向けて協議する際に、県の了解を得てください。

通し 番号	項目	質問内容	回答
27	その他	スマートフォンを持っていない層は参加不可か、持ってない方への対策を考える必要はあるのでしょうか。	スマートフォンを持っていない層への対策は、本委託業務の中で考えていただく必要はございません。
28	その他	本年度の参加人数はどの程度を見込んでいますか。	本年度（2018年度）の参加人数は、運用開始予定が3月中旬であることから、見込みは立てておりません。
29	その他	参加者の目標数値などはありますか。	参加者は、運用開始から1年後の2020年3月までに1万人を目標としております。
30	その他	次年度の参加人数はどの程度を見込んでいますか。	